

ヒアリング調査のまとめ

1. ヒアリング対象と項目

本調査は、団体間の連携施策の検討や市民アンケートを補完するための調査として位置づけ、下表にある計 17 の団体等にヒアリングを実施しました。

	対 象	項 目
スポーツ関連団体等	【9者】 ・市内スポーツ施設管理者 ・NPO法人府中市体育協会 ・府中市スポーツ推進委員会 ・総合型地域スポーツクラブ ・府中コムスポ協力者	・活動概要 ・組織体制 ・関連施設、団体との連携 ・指導者の確保 ・事故対策 ・運営に関する課題 ・市民のスポーツや運動に対する認識、取組状況 ・トップスポーツとの連携 ・今後の展望 ・市への要望 等
トップチーム	【5者】 ・FC東京 ・サントリーサンゴリアス ・東芝プレイブルーパス ・トヨタ自動車アルバルク ・府中アスレティックフットボールクラブ	・活動概要 ・組織体制 ・市内の団体との連携 ・市民との交流 ・トップアスリートの社会貢献 ・情報発信
その他団体等	【1者】 ・府中市社会福祉協議会	・障害者のスポーツの意識、実施状況、課題 ・障害者スポーツを支える立場の現状、課題 ・スポーツを通じた共生社会の実現 ・今後の展望
	【2課】 ・建築施設課 ・観光プロモーション課	・計画における課題の整理 ・施策の検討 等

(2021年3月1日時点)

2. 調査項目とねらい

調査項目とねらいは下記を想定しています。

分 類	項 目	ね ら い
基本事項	活動概要	団体の基本属性を把握する
	組織体制	
	スタッフの確保	運営の体制を把握する
	市民とのかかわり	団体の考え方を把握する
	事故対策	マネジメントの考え方を把握する
(1) 市民のスポーツ推進について	市民のスポーツや運動に対する認識、取組状況	団体の考え方を把握する
	活動時期、実施場所	主な活動の概要を把握する
	トップスポーツとの連携	団体の考え方を把握する
(2) 他の団体等との連携	他の団体と連携した取組はありますか。 (ある) どのような団体と連携しているか。 理由・経緯 (ない) 連携する意向	団体の取組を、自治体として面的に展開していくための実態・課題を把握する
(3) 課題	活動を継続していくうえで課題だと感じていることはありますか。 活動内容について 市民とのかかわりについて その他	団体の活動における課題の把握し、府中市がどのように関わることができるかを検討する
(4) 今後の展望・市への要望	今後取り組みたいこと、市に望むことはありますか。	市の取組に対する要望等を把握する

3. ヒアリングの要点

(1) 市民のスポーツ推進について

スポーツ関係団体

健康志向の高まりから、スポーツへの意識は高まっていると感じる。公園などスポーツ施設以外の場所で自主的にスポーツを楽しんでいる市民は多いだろう。

コロナ禍を経て1人で行うスポーツの機会は増えてきているだろう。

支えるスポーツについても、一緒に楽しもうとする人も多い。

スポーツが競技志向だけでなく楽しむものだという考えをもつ子どもや保護者も増えてきていると感じている。

競技力向上などのモチベーションは下がってきていると感じる。

市内トップチーム

地域体育館が地域のコミュニティに根付いていると感じている。

障害者スポーツに関心のある市民も少なくないと感じている。

身近にスポーツをする環境があり、行動層も多い。

その他団体等

心身に障害のある市民のスポーツの取組は、施設職員の情報(WEB 検索)だけでなく利用者の要望等をもとに準備している。【障害者のスポーツ推進】

自身の記録の伸びを実感できるスポーツを楽しむ人は多い。【障害者のスポーツ推進】

コロナ禍で施設の利用機会が減少した一方で、スポーツ施設が発信する動画等を見て、身近な場所や自宅で体を動かそうという人が増えた。【障害者のスポーツ推進】

健康志向の高まりからスポーツ全般への関心は高まっていると感じている。課としても、スポーツツーリズムの気運ができてきていると感じる。【庁内関係課】

(2) 他の団体等との連携

スポーツ関係団体

コミュニティ協議会がプラットフォームになって、スポーツ推進委員が活動し市民のスポーツを推進できている地域もあるが、市全体として機能しているとはいえない。

連絡の体制整備が必要だと感じている。

組織的な連携は十分でないと感じている。

競技を軸にした人間関係づくりを行ってきており今後も力をいれていきたいと考えている。

市内トップチーム

年齢や障害の有無に関わらずスポーツに親しむ人が増えるよう、市と連携していく意向である。

スポーツが市の魅力となっていくという考え方を共有できると一層連携が進むだろう。

その他団体等

スポーツ観戦が好きな施設利用者が多いことから、トップスポーツチーム・アスリートとふれあえる機会をより一層充実していくために、今後も連携していけるとよい。【障害者のスポーツ推進】

各種団体と連携ができている。スポーツの分野と連携して、スポーツの力を活用した地域経済活性化につながる取組を考えていけるとよい。【庁内関係課】

(3) 課題

スポーツ関係団体

連携・協働にあたって各組織、役職などの立ち位置の整理は必要かもしれない。

市内のスポーツ施設は、いつでもだれでも楽しく使えるという雰囲気はあまりないかもしれない。無関心層の行動変容につながるきっかけを充実していけるとよい。

できるだけ情報をタイムリーに発信していくことが重要だと考えている。

コロナ禍を経てスポーツを通じた横のつながりが薄れてきている。スポーツを通じた生きがいづくりのコーディネートに取り組んできたが、それが実行できていない。

市内トップチーム

ビジョンを共有して継続的に連携できるパートナーと関係を構築していきたい。事業単発で終わらないようにしたい。

市内のスポーツ関係団体をフラットにつなぐプラットフォームがあるとよい。継続的に情報交換、意識共有する座組ができるとよい。

スポーツ推進のわかりやすいビジョンと構成、KPIが整理されているとよい

その他団体等

大会等が中止になったことで「身体を動かす楽しさを知る」機会が減った。【障害者のスポーツ推進】

スポーツの力を活用して、インクルーシブなまちづくり・地域づくりについて考えていけるとよい。【障害者のスポーツ推進】

「武蔵国 府中大使」を十分に活用できていない。【庁内関係課】

トップチーム・アスリートの活用の方向性を共有できるとよい。【庁内関係課】

施設の老朽化対策、長寿命化対策は必須であり、そこでは民間活力の導入もポイントとなるだろう。【庁内関係課】

(4) 今後の展望、市・スポーツ施策への要望・意見 等

スポーツ関係団体

圏域の異なる地域体育館と文化センターをうまく協働させることで、市民のだれもがスポーツを楽しむ場が生活に身近にあるということを発信していけるとよい

事業について、参加人数などのアウトプットだけでなく、新たな取組として意識が変わる人が増えるなどアウトカムの視点で評価されるしくみがあるとよい。スタート時は参加者が少なくても、少しずつ市民の意識が変わっていく取組もある。一定程度の期間をみる視点も重要だろう。

次期スポーツ推進計画は数値目標の達成ありきでなく、ビジョンを共有して市内のスポーツ関係者が連携していく指針となるとよい。

関係者間の意識共有や理解は重要になる。市とも情報交換・共有はしていきたい。

地域体育館でスポーツに親しみ、小学校中学校で部活動を始めるという子どもも多くみえてきた。地域体育館の利用団体・組織間の接点を運営協議会だけでなく市もつくれるとよい。

市内トップチーム

各組織・団体ができることを整理して役割分担し、協働で市民の関心喚起・行動変容を促していくことが重要だと考えている。市が旗振りし、行政としてできること、民間に任せたいことを整理してほしい。

産業振興の分野も巻き込んでスポーツを推進していけるとよい。

市の施設の効果的な活用方法を検討してほしい

その他団体等

障がいの有無に関わらず、だれもが身近に利用できるスポーツ施設を充実していくことが重要だろう。【障害者のスポーツ推進】

市内の他スポーツ団体等と連携を考えた時に、だれにどう相談してよいかわからない。【障害者のスポーツ推進】

観光振興プランの策定が進んでいる。連携施策・事業について適宜情報共有・交換を行っていけるとよい。【庁内関係課】

スポーツの力を活用した地域活性化について民間事業者とも意見交換していけるとよいのではないか。【庁内関係課】

市の施設でまかなえない部分は民間と協働してサービスの質を担保していくことを考えていけるとよい。【庁内関係課】